



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2018年5月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



「東北復興グリーンウェイブ2018」岩手県山田町での植樹会
子どもたちと滋賀県「崇徳保育園」谷口園長先生のベストショット

(目次)

1. 「東北復興グリーンウェイブ2018」岩手県山田町植樹会レポート
2. 「東北復興グリーンウェイブ2018」岩手県宮古市での植樹会レポート
3. 「東北復興グリーンウェイブ」被災地に植えられた苗木の風景

■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

・運営：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）

・特別協賛：日本郵政グループ

・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟

(公社) 大谷保育協会

(公社) 国土緑化推進機構

NPO法人C・C・C富良野自然塾

(一社) 日本森林インストラクター協会

NPO法人自然体験活動推進協議会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(一社) 日本オート・キャンプ協会

(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

保育環境研究所ギビングツリー



1. 「東北復興グリーンウェイ2018」岩手県山田町植樹会レポート

JP子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイ」における山田町での5回目となる植樹会が、今年も5月22日（火）の「グリーンウェイ」の日に、同町の豊間根地区にある苗畑で開催されました。全国の35園の保育園、幼稚園、こども園の子どもたちから届けられた、約150本の東北の“どんぐり”の苗木を、山田町の四つの保育所・保育園（山田町第一保育所、豊間根保育園、織笠保育園、船越保育園）の子どもたち、約50名が苗畑に一生懸命に植えてくれました。



全国から苗木を届けてくれた「“どんぐり”BOX」



動物の食害防止のフェンスで囲まれた苗畑



植樹活動が始まりました。



応援にかけつけてくれた先生たちと一緒に植えました。



「織笠保育園」湊先生のおつかれさまごあいさつ



記念撮影



「新生やまだ商店街」での記念植樹も行われました。

今年の植樹会にも、下記の方々、遠路応援にかけつけてくれました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

- ・山田町農林課 佐々木さん、佐藤さん
- ・日本郵政 広報部 佐藤さん
- ・「若久青い鳥保育園」岡村園長、川上農園長
- ・「崇徳保育園」谷口園長 ・「大野幼稚園」藤園長
- ・「第二勝田保育園」丸山園長
- ・「赤前保育園」小関園長

2. 「東北復興グリーンウェイブ2018」岩手県宮古市での植樹会レポート

2018年5月21日(月)に、宮古市の「赤前保育園」(小関園長)と「津軽石保育所」(小関由美子園長)の年長児26人が参加して、「赤前保育園」の園庭の一画に作られた宮古市の苗畑に、13本の全国の保育園、幼稚園、こども園の子どもたちが育てた東北の“どんぐり”の苗木を植えました。J P 子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」で、被災地に東北の“どんぐり”の苗木を植える活動が、岩手県山田町からお隣の宮古市に広がりました。(※詳細は、ホームページをご覧ください。)



「開会式」活動を応援してくれている人たちのごあいさつ



植樹活動が始まりました。



大きくなあれ。



年中、年少さんは見学です。来年、一緒に植えようね！



植樹が終わって、記念撮影



宮古市のお友だち、苗木を大切に育ててね。

3. 「東北復興グリーンウェイ」被災地に植えられた苗木の風景

「東北復興グリーンウェイ」の植樹会に先立って、5月20日（日）に、岩手県山田町の苗畑からの植え替え作業が行われました。当日は、地元保育所、保育園の保護者や地域の方にご参加いただき、2016年に苗畑に植えられた“どんぐり”の苗木約100本が、「しいたけの森」「カキの森」に植え替えられました。ところで、山田町の植樹活動も5回目を迎え、全国の子どもたちが育てて送った東北の“どんぐり”の苗木の育成状況について、参加園から問合せがありました。そこで、今月号では、山田町に植えられた苗木の風景をお届けします。（*今月号の「育苗日記」はお休みとさせていただきます。）

●苗畑（岩手県山田町豊間根地区）

全国から届けられた東北の“どんぐり”の苗木は、一旦、苗畑に植えられ、もう少し大きくなってから植え替えられる。



今年（2018年）植えられた苗木



2017年に植えられた苗木

●しいたけの森（岩手県山田町豊間根地区）

山田町の「しいたけマイスター」芳賀榮三さんの森に植えられた“どんぐり”の苗木。山田町は全国でも有数のしいたけの産地であり、しいたけづくりは復興産業の一つ。植えられた“どんぐり”の苗木は、大きくなって、しいたけの「ほだ木」として活用される。



今年の「しいたけの森」への植え替え活動



2017年に植えられた苗木。こんなに大きくなりました。

●カキの森（岩手県山田町船越地区）

“どんぐり”の木が大きくなって、傍らを流れる小川を通じて海に森の栄養を届け、山田町の復興産業であるカキの養殖に寄与する森。



2014年に植えられた“どんぐり”の苗木。
小さな“どんぐり”の森が生まれていました。



カキの養殖風景